

受けよう!
がん検診

新型コロナへの不安から 受診を控えていませんか？

日本では2人に1人ががんになり、そのうち3人に1人ががんによって亡くなっています。早期発見・早期治療のためのがん検診は命を守ることにつながります。医療機関では新型コロナウイルス感染症対策を徹底していますので、安心して受診してください。

20～30代
女性

■子宮頸がん
■乳がん

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス (HPV) の感染が原因となるがんで、若い世代に患者が急増しています。また、血縁内に乳がんにかかった方がいる場合は若いうちから受診を！

40歳以上
女性

■子宮頸がん ■乳がん
■肺がん ■胃がん
■大腸がん

乳がん検診は、高濃度乳房と言われたことがある方や40歳未満の方には超音波検査がおすすめです。乳がんは女性の罹患率1位、大腸がんは女性のがん死亡数1位なので、ぜひ検診を受けてください。

40歳以上
男性

■肺がん ■胃がん
■大腸がん

肺がん検診については喫煙者はX線検査とあわせて喀痰細胞診も受診するのがおすすめ。非喫煙者も発症の可能性はあるので他人事ではありません！

ご家族にも
受診をおすすめ
ください！



がん検診の目安と検査方法

種類	受診の目安	検査項目
子宮頸がん	20歳以上2年に1回	子宮頸部細胞診
乳がん	40歳以上2年に1回	マンモグラフィ検査または超音波検査
肺がん	40歳以上1年に1回	胸部X線検査
胃がん	40歳以上1年に1回	胃X線検査 (胃内視鏡検査は50歳以上2年に1回)
大腸がん	40歳以上1年に1回	便潜血検査

受診を後回しにして手遅れになることもあります。後悔する前にお早めのご予約・受診を！がん検診受診後に「要精密検査」の通知がきたら必ず医療機関を受診してください。



けんぽお知らせ板